

校長室便り



(家庭数配付)

令和4年6月30日
第3号
白井市立白井第一小学校
校長室発行

安全に生活するために

記録的に短い梅雨が明け、猛暑が続いていますが学校にはいつも通りの元気な子どもたちの声がかけています。子どもたちが一生懸命学び、目一杯遊んでいるのが、いつもの学校の風景です。しかし、この「いつも」を突然崩してしまうのが「事件・事故」です。6月は「事件・事故」について、子どもたちや先生方に考えてもらう場面がたくさんありました。

6月の全校朝会では、「交通事故」について話をしました。小学生が関わる交通事故は6月が一番多いことや実際にどんな場面かを話しました。また、交通事故では被害に遭うばかりでなく、誰かを傷つけてしまう可能性があることを伝え、7月からは自転車の保健が義務化されることを話しました。さらに子どもたちの登下校の安全を守るために4月からのスクールバス運行に加え、木下街道沿いのガードレールが延長されました。行政の対応に感謝です。



また、23日には西警察署の協力で「不審者対応訓練」を実施し、刃物を持った不審者が校舎内に侵入したときの対処方法を学びました。子どもたちは不審者が教室に近づかないよう、職員は警察が到着するまで不審者を監視し、子どもたちの行動を妨げることが大切だと教えていただきました。

また、不審者を見分けるための合い言葉「はちみつじまん」

を教えてくださいました。はちみつじまんとは・・・
はちみつ ; しつこくはなしかけてくる人。
ちみつ ; ぐんぐんちかづいてくる人。
みつ ; じつとみつけてくる人。
つじま ; 後をいつまでもついてくる人。
じまん ; じつとまっぴらでいる人。

ただし、侵入した不審者を確実に取り押さえる方法はなく、やはり「侵入させない。」が一番大切なことだと改めて感じました。門扉や入り口の施錠を心掛けていきます。



次に熱中症対策です。毎日のように熱中症で児童生徒が救急搬送されるケースを見聞きすることがあります。授業者は、授業でマスクを全員の児童生徒に外すよう指示し、熱中症予防の指導を徹底してまいります。また、児童生徒がマスクを外す際は、外遊や体育の活動が中心で、マスクを着脱する際は、十分に注意を払ってまいります。また、児童生徒がマスクを外す際は、十分に注意を払ってまいります。また、児童生徒がマスクを外す際は、十分に注意を払ってまいります。



「いつも通りの生活」を守るためには、たくさんの人々の努力や協力が必要です。子どもたちの安全を守るため、是非この努力と協力を惜しまず実行していきたいと思っております。暑い夏です。水の事故にも気をつけたいものです。

最後に28日の「犯罪予告への対応」では、児童の送迎や見守りにご協力いただきありがとうございました。不審者は現れずイタズラかと思われそうですが、人を困らせたり不安にさせたりして喜ぶ行為は絶対に許せません。二度と起こらないことを願います。